

第90期 中間期 株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第90期（2025年3月期）中間連結会計期間（2024年4月1日から9月30日まで）における当社グループの業績概要、通期の見通し等について、ご報告申し上げます。



代表取締役社長 鈴木 利彦

■当中間連結会計期間の業績について

当中間連結会計期間における世界経済は、堅調な米国が牽引する形で全体として緩やかな成長基調にありますが、中国や欧州経済低迷の長期化、米中対立、ウクライナ危機や中東紛争といった地政学的要因等、下振れリスクは高まっている状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、主に輸出案件の減少により、当中間連結会計期間の受注は前年同期比10.1%減の785億7千9百万円（一般社団法人日本鍛圧機械工業会プレス系機械受注額）となりました。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の受注高は、中・大型プレス機（個別機）が増加したものの、電気自動車（EV）向け高速プレス機や汎用プレス機の減少が響き357億5千6百万円（前年同期比16.8%減）となり、受注残高は受注と円高効果により749億5千6百万円（前年度末比2.3%減）となりました。

売上高については、中・大型プレス機（個別機）やサービスの売上増加に加え円安影響等により375億6百万円（前年同期比8.5%増）となりました。利益面では、増収及び粗利率改善により営業利益は28億8千1百万円（同101.8%増）、経常利益は26億8千5百万円（同83.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は政策保有株式の売却等により23億4千6百万円（同104.3%増）となりました。

■通期の連結業績見通しについて

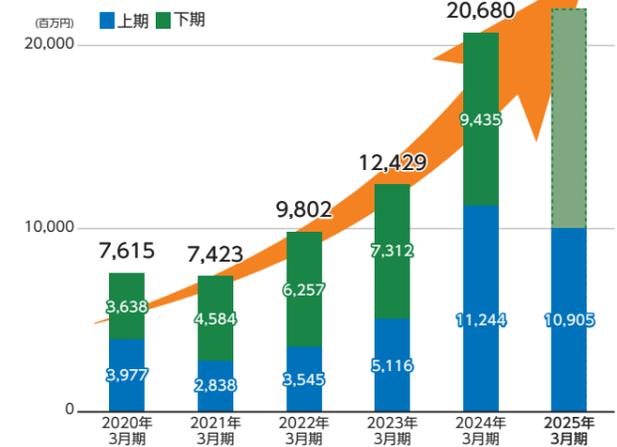
売上高予想につきましては、中・大型プレス機（個別機）やサービスの売上増加に加え、円安影響等により740億円（前年同期比1.7%増）と前回予想から変更はございませんが、汎用プレス機と高速プレス機の売上が当初想定ほど伸びず、全体の粗利率が想定を若干下回ることから営業利益を57億円から53億円（前年度比46.6%増）に下方

修正、経常利益を58億円から53億円(同47.4%増)に下方修正しております。尚、前年度比では大幅な増収増益を見込んでおります。また、政策保有株式の売却等により特別利益が増加することから親会社株主に帰属する当期純利益につきましては42億円と前回予想から変更はございません。

■中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)の進捗状況について

中期経営計画はほぼ計画通りに進捗しております。基本施策「事業ポートフォリオの変革」においては、EV化による自動車部品構成への変化を受け、EV関連、環境関連等の成長製品へのシフトを進めています。EV駆動用モーター製品向けの高速プレス機については、部品供給制約や生産能力不足で納期が長期化しておりましたが、調達先の拡大、津久井工場のレイアウト改善、スペースの有効活用等により、生産能力は順調に拡大しました。

高速プレス機 売上高推移



また、基本施策「新たな付加価値の創出」では、多様化する外部環境に対応するため、研究開発及び迅速な商品化を行っています。2025年3月期の上期においては、EV以外の代替エネルギー関連分野について、水素自動車や水素発電向けのセパレーター成形専用の大型精密プレス「BEXシリーズ」を商品化しました。自動車以外にも大型施設や家庭での水素発電向けに需要拡大が期待されるため、引き続き機能改善と需要の掘り起こしに注力します。次頁のトピックスに「燃料電池バイポーラプレート用金属セパレーター成形専用機BEXシリーズ」を紹介しておりますのでご覧ください。

■利益配分に関する基本方針について

株主の皆さまの利益向上を経営上の重要課題の一つとして認識し、企業価値向上と安定的な株主還元を努めております。中期経営計画においては「ステークホルダーとともに成長するという経営方針に基づき、経営・財務基盤の安定性確保と持続的成長への戦略投資を考慮しつつ、連結配当性向40%以上を目指し、安定的な株主還元を行う」ことを基本方針としております。通期の連結業績予想を修正いたしました。期末配当は据え置きし、1株につき普通配当30円(連結配当性向41.2%)を計画しております。

100年以上積み重ねてきたモノづくりの歴史を継承し培ってきた技術により、社会課題の解決に向けて取り組む姿勢を今後も続けてまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月
代表取締役社長 鈴木 利彦

トピックス

当社は、中期経営計画において「環境・省エネ・技術進歩を支える先進企業として社会に貢献する」という経営ビジョンを掲げています。新しく自社開発したプレス機械を通じて、社会全体のCO₂排出量削減による環境負荷低減に貢献する取り組みをご報告いたします。



燃料電池バイポーラプレート用金属セパレーター成形専用機BEXシリーズ販売開始

水素と酸素の化学反応で発電する水素燃料電池は、CO₂削減のための次世代エネルギーとして期待されており、FCV(燃料電池車)のみならず、エネファーム(家庭用燃料電池)、エレクトロライザー(水電解装置)など、さらなる活用の拡大が見込まれています。

当社はこうした需要拡大を視野に、水素燃料電池等に搭載される重要部品であるバイポーラプレート用金属セパレーターを成形するBEXシリーズを2024年6月より販売開始しました。セパレーターには、板厚0.1mm以下という薄板に相対寸法公差数ミクロンという微細な水素と酸素の通り道があり、これをプレス機械で成形するには高い加工精度を実現する必要があります。当社は本製品開発にあたり、水素燃料電池技術に関する欧州研究機関であるFraunhoferのバイポーラ分科会に参画し、自動車関連や電力関連など多岐にわたる業界の企業とともに共同研究を行い「BEXシリーズ」の商品化を実現しました。

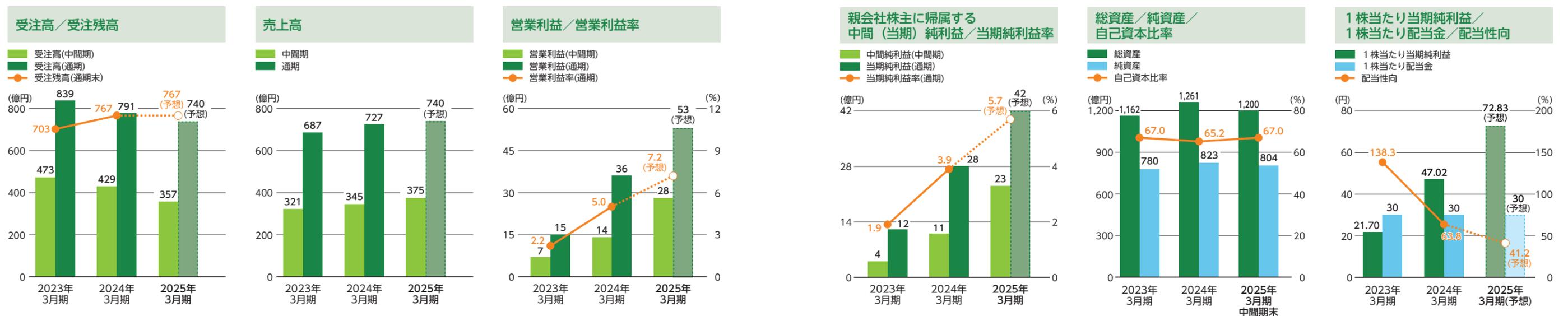
本機については先般フランスの病院の発電向けに第1号の受注を獲得しました。また、当社イタリア工場ではBEXトライ機を常設し、欧州研究機関や欧州ユーザーが金型トライに利用しています。こうした活動により、ドイツの工業系ニュースレター(The Fuel Cell Compass)では、当社がイタリアを代表するバイポーラプレートサプライヤーとして紹介されています。

10月には世界114ヶ国から約3万8千人の来場者が集まった世界最大級の国際板金加工見本市「EuroBlech2024」(ドイツ)に参加し、多くの来場者がBEXシリーズの紹介映像に関心を寄せていました。

当社はこれからも脱炭素社会の実現に向けて、技術革新に取り組んでまいります。



連結財務ハイライト

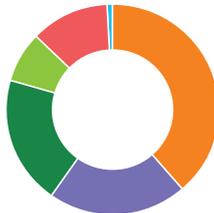


■ 会社概要

商号 アイダエンジニアリング株式会社
創業 1917年 (大正6年) 3月
設立 1937年 (昭和12年) 3月
資本金 78億31百万円
従業員数 2,001名 (連結) 824名 (単体)
主な事業内容 プレス機械を主力とする鍛圧機械、各種機械、各種自動装置、産業用ロボット及び金型等の製造・販売並びにサービス

■ 株式の状況

発行可能株式総数 188,149,000株
発行済株式総数 67,204,621株 (うち自己株式5,317,033株)
株主総数 8,672名
所有者別株式分布状況



金融機関 …… 38.86%
外国法人等 …… 21.12%
個人・その他 …… 19.49%
自己株式 …… 7.91%
国内法人 …… 11.89%
金融商品取引業者 …… 0.73%

※比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

■ ウェブサイトのご案内

当社事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、また当社のサステナビリティ基本方針、社会貢献・環境への取り組みについて掲載しております。ぜひご覧ください。



https://www.aida.co.jp



株主・投資家情報

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当基準日 毎年3月31日

公告方法 電子公告

https://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお問合せ先

証券会社に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)

みずほ信託銀行 証券代行部
0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)



株式に関するお手続き (住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など) のご照会及びお届出につきましては、上記をご参照ください。

ただし、未払配当金のお支払いにつきましては、上記みずほ信託銀行証券代行部へお問合せください。

【口座振込による配当金受取のご案内】

「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられている株主の皆さまへ

配当金のお受け取りを銀行または証券会社の口座への振込にされますと、支払開始日に確実に入金されますので大変便利です。

口座振込を希望される場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。証券会社に口座がない株主さまは、上記みずほ信託銀行へお申し出ください。

統合報告書2024のご案内

当社では、ステークホルダーの皆さまに経営状況等の財務情報に加え、非財務情報 (企業の社会的責任、価値創造プロセス等) をお伝えする「統合報告書2024」を発行いたしました。

成形システムビルドとして発展し、人と社会に貢献するという企業理念を実現するための当社の取り組みをご覧ください。



https://www.aida.co.jp/ir/data/annual.html